

令和5年度 奄美市立赤木名小学校経営推進プラン

【学校教育目標】

豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、心身ともに健康でたくましい子どもを育てる。

《伝統目標》「赤木名の子らよ、大木になれ」

【校訓】

くじけるな
のびよ身と心
大望をもて

【めざす子供像】

- 1 元気で、明るく思いやりのある子ども(徳)
- 2 健康で、たくましく、最後までがんばる子ども(体)
- 3 自ら学び、共に学び合い、よく考える子ども(知)
- 4 赤木名を愛し、誇りと自信をもつ子ども(愛郷心)

- 児童数 名
- 学級数 8学級
- 職員数 名
- PTA戸数 戸

【めざす学校像】

- 1 子どもたちが行きたくなる笑顔あふれる学校
- 2 一人一人の生命や個性・人権が尊重される学校
- 3 子どもたちに確かな学力をつけ、自尊心を育てる学校
- 4 伝統を大切に前進する保護者や地域に信頼される学校



シンボルツリー
7本のアカギ

【めざす教師像】

- 1 子どもの教育に情熱を傾け、教師力を高める教師
- 2 子どもたち一人一人を大切にす教師
- 3 保護者や地域の声を聴き、共に歩む教師

【重点努力事項】

1 豊かな心の育成(積極的生徒指導の推進)

命を守る教育・人権教育の充実、自己開示と他者理解、多様性の理解、心の回復力(レジリエンス)育成、規範意識の向上

2 健やかな体の育成

基本的生活習慣の確立、家庭と連携した健康・安全教育の推進、教科体育の充実

3 確かな学力の育成(「基礎・基本」の定着)

「基礎・基本」の確実な習得、「書く」活動の充実、家庭学習の充実
・数値目標 単元テスト正答率:83%以上, CRT:全国平均以上, 鹿児島学定・全国学調:県平均以上

4 地域に根ざしたふるさと教育

地域の文化や伝統, 人材を活用した伝承活動, 地域を知る活動の充実等

5 体験活動の充実

道徳的実践力の推進, ボランティア活動の推進, 花いっぱい運動の推進等

【一校一改善】「毎時の振り返りで、個別最適な学びと協働的な学びの一体化」

【一時徹底】「自分から進んであいさつ」

【研究テーマ】 子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現

～振り返りで確かなものに～

☆重点努力事項☆

項目	具 体 策
生徒指導・特別支援教育・キャリア教育	<p>○小さな成功体験(全教育活動において)の積み重ねによる自尊感情の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的生活習慣の確立 →<u>家庭との連携</u>,<u>保健指導との連携</u>等 2 命を守る教育・人権教育の推進 →<u>人権週間の取組</u>,<u>SOS 出し方教室</u> 3 <u>自己開示と他者理解</u>→<u>自尊感情の向上</u>,<u>他者理解による多様性の許容</u>(キャリア教育推進) 4 <u>心の回復力(レジリエンス)の育成</u> →<u>全児童教育相談(年3回)</u>,<u>心の教育(年3回)</u> 5 <u>規範意識の向上</u> →<u>ルールやマナーを教え</u>,<u>身に付けさせる</u>,<u>道徳的実践力の習得</u>等 6 <u>主体的な行動の育成</u> →<u>成功体験の積み重ねによる意欲</u>,<u>行動力の育成</u> 7 情操教育の推進(笑顔であいさつ,一人一鉢運動,ボランティア活動,歌声の響く学校) 8 職員研修(いじめ対策必携活用,人権教育,<u>発達理解</u>,<u>カウンセリングマインド</u>等)
保健指導	<p>○健康や命の大切さがわかり,主体的に行動できる子どもの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯・あいさつ・家庭内ルール)の確立 →<u>家庭との連携</u>,<u>学校全体としての取組</u> 2 健康教育の充実 →<u>学級活動</u>,<u>保健体育科による保健指導</u>(清潔,病気,感染症の理解,<u>ストレス回避</u>等),<u>食育の充実</u>等 3 体力の向上 →<u>教科体育の充実</u>,<u>自主的な体力作り</u>,<u>一校一運動の推進</u> 4 安全指導の推進 →<u>各学級</u>,<u>子ども会等と連携した KYT(危険予知トレーニング)</u>,<u>学校施設の安全点検</u>,<u>各避難訓練の取組</u> 5 保健衛生・給食指導の推進 →<u>衛生管理の徹底</u>,<u>衛生的な給食指導</u>,<u>食事マナー指導</u>等
学習指導	<p>○主体的に学び,他者のよさを取り入れることができる子どもの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 諸テストによる実態把握と対策実践 →<u>職員研修による分析の確実な実施</u> 2 教師主導型の授業からの脱却,授業充実の3ポイントの確実な実施,<u>効果的な ICT 活用</u> →<u>学びのモデル</u>,<u>スタイルの指導</u>,<u>ICT 活用に関する職員研修</u> 3 授業力向上 →<u>一人一研究授業</u>・<u>授業研究によるリフレクション</u> 4 各教科における言語活動の推進 →<u>記録</u>,<u>報告</u>,<u>説明</u>,<u>解説</u>,<u>論述</u>,<u>討論</u>,<u>推薦</u>,<u>伝え合い</u>,<u>コミュニケーション</u>等の活動を取り入れた言語力の育成と活用等 5 外国語教育の研究・実践,<u>プログラミング教育の研究・実践</u> 6 <u>道徳的実践力向上</u>→<u>道徳授業</u>,<u>道徳コーナー(学級設営)の充実</u> 7 家庭学習の充実 →<u>家庭学習 60・90 運動の推進</u>,<u>学習の手引き見直しと活用</u>,<u>自主学習への取組</u>(選択や自己決定をさせた家庭学習の工夫),<u>家庭学習時間の見届け(10分×学年+20分)</u> 8 学校内外における読書運動の推進→<u>読書冊数個人目標達成</u>(低:120冊,中:100冊,高:80冊),<u>親子読書会</u>,<u>読み聞かせ</u>等 9 求められている学力への対応 →<u>見通しをもった Web 問題・アシストシート</u>等への取組
郷土教育	<p>○奄美のことを知り,誇りに思う子どもの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の自然や人材,伝統や文化(島唄・島口,八月踊り,六調等)を活用した郷土学習の推進(運動会での八月踊りの継続) 2 総合的な学習の時間での<u>自然(生物,景観)</u>,<u>生活・文化(島唄,島口,祭り,信仰,紬,酒,みそ,ミキ,鶏飯,塩等)</u>,<u>産業(キビを含めた農業,漁業,工業,商業,観光業)</u>,<u>歴史等の学習</u> 3 <u>学習ゴール設定(ex.地域の方々を招いて発表会,保護者を招いて発表会,リーフレットを作成して空港に設置,他校との交流)の工夫と明確化,他教科との関連</u>

<p>体験活動</p>	<p>○<u>体験を通し、コミュニケーション力や主体性(自分から)、協調性(みんなと)を身に付ける子どもの育成</u></p> <p>1 <u>発達段階に応じた体験の場(日常・特別)の設定</u></p> <p>2 <u>「話す」「書く」につなげる学習を通した体験・行動の振り返りと価値付け</u></p>
<p>幼小中連携</p>	<p>1 職員研修や授業実践(幼・保・小・中の教諭が相互に授業参観, 情報共有等)</p> <p>2 諸行事(幼小合同の運動会, 学習発表会の幼小合同実施等)への参加と行事調整</p> <p>3 赤木名中学校校区でのジョイントプランの推進</p> <p>4 <u>スタートカリキュラムの充実</u></p>
<p>その他</p>	<p>1 生命尊重教育の充実</p> <p>2 人権尊重教育の推進</p> <p>3 <u>他者理解と多様性の理解(含:国際理解教育の充実, 特別支援教育の充実)</u></p> <p>4 特別支援教育の充実(個別の指導計画等の作成・活用)</p> <p>5 情報教育の充実(パソコン・新聞の活用, 情報モラル教育の推進, SNS の理解等)</p> <p>6 環境教育の充実(緑の少年団活動の充実)</p> <p>7 家庭・地域・関係機関との連携(学校教育活動への理解と相互協力体制の確立)</p> <p>8 清楚で気品ある学校環境の創造</p> <p>○ 師弟同行の清掃・緑化活動・ボランティア活動の徹底(服装, 取りかかり, 後始末等)</p> <p>○ 校舎内外の環境の美化(設営や掲示の工夫, 学級園・農園の管理)</p> <p>9 教育活動の推進にあたって</p> <p>○ <u>振り返りから次の「問い」につなぐ連続した学習</u></p> <p>10 校務ソフトの研修の位置づけと活用, GIGAスクールへの対応</p>